

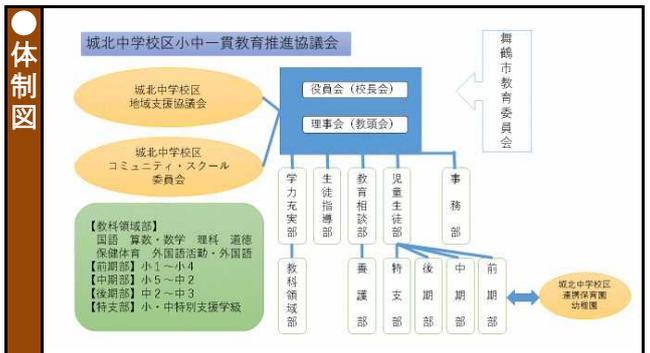
こんな活動です

夢プロジェクトを中心に 地域とつながり児童生徒をみんなで育てる活動

京都府舞鶴市	●活動名	●関係する学校名
	城北中学校区地域支援協議会	舞鶴市立城北中学校 舞鶴市立明倫小学校 舞鶴市立余内小学校 舞鶴市立福井小学校 舞鶴市立吉原小学校

協働活動開始年度	平成24年度	関係学校数	5校	のべ学級数	59学級	のべ児童生徒数	1252人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習		地域人材育成			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数				
	1人		1人				
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携			
	平成29年7月1日設置		215人	無			
参考URL	https://www.city.maizuru.kyoto.jp/kyouiku/000001477.html#pagetop						

●連絡先	舞鶴市立城北中学校	☎0773-75-0158
------	-----------	---------------



●活動の概要・経緯

平成24年度に城北中学校地域支援協議会として発足。平成28年度に小中一貫教育が始まり、城北中学校区地域支援協議会と改名し活動している。

民生児童委員連絡協議会やPTA等の校区の各団体と連携した校区一斉挨拶運動や見守り活動、環境整備、城北中学校生徒会「夢プロジェクト(フジバカマを植栽し、旅をする蝶・アサギマダラを飛来させる取組など)」とタイアップした活動などを行っている。また、詩吟などの教室、おせちなどの伝統食の料理教室を行い、ふるさとに関心を持たせる取組(郷土学習)も行っている。

「夢プロジェクト」の取組は、小学校が閉校となった地域では、フジバカマ祭を開催するなどまちづくり・地域活性化への活動となっている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①中学校地域支援協議会を母体に、PTAや民生児童委員連絡協議会など各団体と連携。
- ②城北中学校生徒会と連携し、「夢プロジェクト」(フジバカマを校区各所に植栽し、アサギマダラを飛来させる取組など)と協働する活動(苗づくり、植栽、贈呈式、手入れ、観察会、匂い袋作成)。
- ③花壇の整備、伝統食(おせちやいもつるなど)料理教室、匂い袋作成、体育祭・文化祭の審査員などの学校支援活動。
- ④地域支援協議会員による校区の小学校との連携(小学校区の公園等に植栽したフジバカマの手入れ、除草作業)。
- ⑤学校と支援協議会が定期的に会議を行い、学校や地域の課題を共有、活動の点検・評価。

【実施に当たっての工夫】

コーディネーターと中学校との連携を密にし、各小学校の教育支援活動を中心に関わってきた方々とコーディネーターとのつながりを深める機会と場を設定して協働関係を強めた。当初は、中学校の教頭が連絡調整を行っていたが、小中一貫教育の推進とともに、活動状況の把握や連絡調整がスムーズになるよう、小中学校教頭間の連携を強めた。また、小学校区ごとの連絡体制も設けた。

コーディネーターと地域の方々、学校とのつながりが深まる中、必要な支援やどのような協働活動ができるか、そのためのネットワークの強化を話し合うことを大切に、そのことが各教室の開催など活動の広がりに繋がった。また、母親教室の開催など、若い世代から高齢の方まで幅広く活動に参加し、取組が充実し継続するよう考えながら進めている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

学校と地域住民が連携・協働し子供たちに関わり、学校教育活動を支援する活動が進められたことで学校が安定してきた。子供たちは、さまざまな教育活動に熱心に活気を持って取り組んでいる。また、地域の方と子供が顔の見える関係を築くことで、安心・安全な地域づくりにつながっている。

会員は、学校の安定化に関わったという自信と、子供たちと触れ合う中で「子供たちから逆に元気をもらっている」「小学校から中学校を卒業するまで見守ったり関わったりしたい」とやりがいを感じている。また、閉校となった小学校のある地域では、「夢プロジェクト」により、子供たちの声が地域に戻り、アサギマダラの観察に多くの人が訪れる状況が生まれ、地域の活性化につながっている。

●その他

旧青井小学校で、9月に地域の方が講師となり、校区の小学3年生が合同で『こん虫のかんさつ』の学習をしている。今年11月、学習の際にマーキングした蝶が、948km離れた鹿児島県喜界島で捕獲され、ロマンある取組に発展し、校区は大いに盛り上がっている。



小中合同でのフジバカマの植栽(旧青井小学校)



校区小学校へのフジバカマの贈呈式